

切実な市民要求の実現へ

被災者支援 / エネルギー対策
公共トイレの設置

14日は、佐々木とも子議員とのむら健一議員が一般質問をおこない、切実な市民要求をとりあげました。その要旨を紹介します。

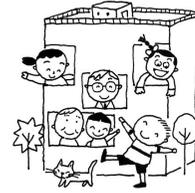
被災者住宅にクーラー設置を 市長「東京都にこちらからも問い合わせいく」 市議会議員（3期） 佐々木とも子



佐々木とも子

市議は、東日本大震災により市内に避難している被災者への支援体制について質問しました。市民部長からは、URや公社住宅などに53世帯139名の他、縁故避難や民間住宅あわせて116世帯278名が避難しているとの答弁がありました。厚労省からは、災害救助法の適用となる「応急仮設住宅」は、被災地と同等の支援が受けられるという通達があり、エレベーターのな

い公共住宅をさげやむなく民間住宅に避難している避難者についても、市が借り上げて支援の対象にすべきと質したのに対し、「借り上げはしていない」と答弁。一方で、公社などの被災者住宅へのクーラー設置を求めた質問には、「東京都にこちらからも問い合わせていく」と市長が答弁しました。被災者への雇用創出については、これから募集のあ



る市の緊急雇用創出事業をハローワークに紹介する

「災害時のマニュアル」を充実し、 透析医療患者の命を守るべき とのむら健一 市議会議員（6期）



とのむら健一

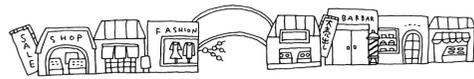
一市議は、災害時の透析医療患者の命を守る施策の充実を求めて質問しました。今回の大震災で、市内の医療機関では、計画停電の影響で透析治療時間を短縮した病院があり、患者さんから不安の声が寄せられました。行政の対応についての質問に、いきいき健康部長は、「計画停電による電力不足は課題である」として、今後、「透析医療連絡会を再開し、今回の経験を踏まえてマニュアルを見直していきたい」

と答えました。

町田バスセンターに公共トイレ設置を「検討する」と答弁

市民から要望が高い、町田バスセンターの中に公共トイレの設置を求めた質問に対して、驚北副市長は、「町田バスセンターとその周辺を含めて公共トイレができるかどうか検討したい」と答弁しました。

新庁舎建設が来年4月に完成することにより、交通量が、一日、1500台、6割以上も増え、周辺道路が渋滞する交通問題について、市民に解決策を示



すべきだがどうかと質問しました。開庁後も新庁舎周辺道路の用地買収の見直しはなく、出入りする車両のルートを変更せざるを得なくなることが明らかになりました。



6月15日 水
一般質問



佐藤よし子（6番目）

- 災害時の市民の食料確保について
- 災害時の要援護者支援体制を問う
- 地デジ移行実施にあたっての対策を問う
- 緑豊かな街路樹を

原発ゼロへの展望を語る

6月19日 日 18時から

健康福社会館 お話●笠井亮衆院議員